

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		書道博物館管理運営					所管	文化産業観光部 文化振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	138	計画事業名	文化施設の活用			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 31 誰もが文化に親しむ環境づくり					[事業開始] 平成12年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区立書道博物館条例、同施行規則					
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	画家であり、書家でもあった中村不折の作品及び重要文化財をはじめとする書道に関する貴重なコレクションを、広く一般に展示公開することにより、区民文化の振興を図る。								
	事業内容 [H30年度]	中村不折に関する資料の保管及び展示公開を行った。また、資料に関する調査及び研究と、施設の維持管理を行った。								
	委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容		(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。					
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	開館日数	日	280	283	284	155	277	56.0%	
	成果指標	入館者数	人	16,000	15,600	16,457	10,709	15,000	71.4%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,427	1,927	3,967		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				34,659	37,057	40,809		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				8,424	0	61,859		
		総経費				44,510	38,984	106,635		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				4,951	5,608	3,561		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				2,804	1,731	1,944				
一般財源(区負担額)				36,755	31,645	101,130				
課題及び今後の進め方	重要文化財をはじめ、修復が必要な資料が多くあるため、今後も引き続き計画的に修復を実施していく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	重要文化財をはじめとする中国及び日本の書道史研究上貴重なコレクションや、中村不折氏自身の作品を、都指定の史跡である建物とともに区が中村家から寄贈を受けた経緯があることから、引き続き区立の文化施設として区民をはじめ広く一般に公開していく必要がある。							
	効率性	3	計画的に国庫補助金や都補助金を活用し、経費を最小限にとどめながら、修復資料の保存と展示公開に努めている。							
	手段の適切性	3	指定管理者の専門性を活かした魅力ある展示を行い、固定客を確保している。本区の文化施設では、年間パスポートによる入館者数が最も多く、リピーターも多い。							
目的達成度	3	平成30年度に行った空調機器等更新工事に伴い、5か月間休館したことにより、目標達成率に影響を及ぼした。しかしながら、休館中に松坂屋上野店や生涯学習センターで行ったワークショップ等や再開館後に東京国立博物館と連携した特別展において、多くの参加者・来館者を集めた。								
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
国庫補助金を活用しながら計画的に資料修復を行うとともに、それら資料を計画的に展示している。施設維持管理の面では、平成30年度に空調設備やLED照明の更新工事を実施し、ランニングコストの削減及び環境負荷の低減並びに展示・保管環境の維持向上を図った。休館中も積極的にアウトリーチ事業を行い、PRに努めた。今後も引き続き適切な施設の管理運営を図っていく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		